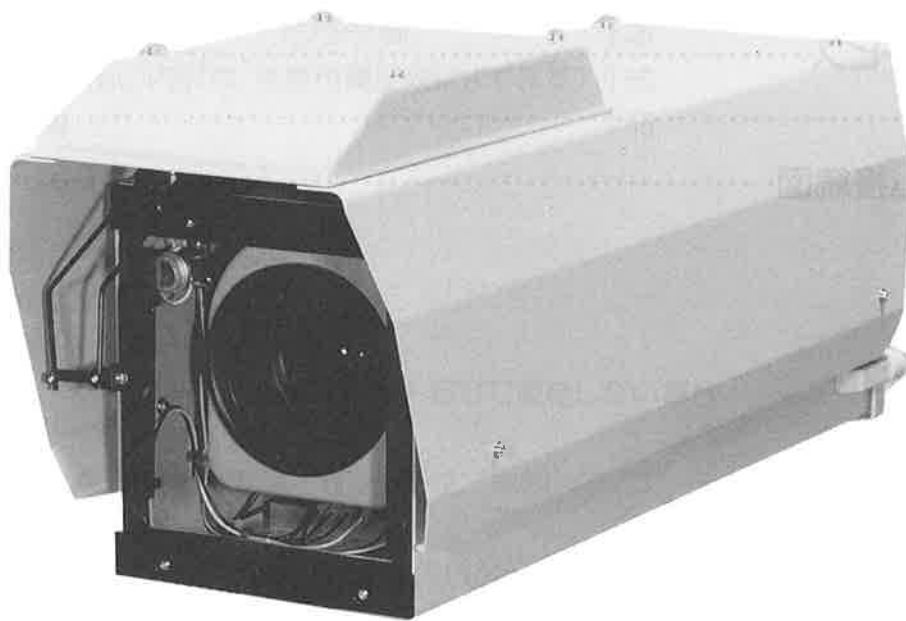


MIKAMI

屋外用カメラハウジング CH-1600型

取扱説明書



このたびは屋外用カメラハウジングCH-1600型をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのカメラハウジングを正しく使っていただくために取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは必ず保存してください。

目次

仕様	3
回路図	5
回路部品表	6
入力ケーブル	7
設置のしかた	8
特にご注意を	10
接続のしかた	11
使いかた	11
修理サービス	12
外観図	13
システム接続図	14

仕様

■概要

本カメラハウジングは、小型テレビカメラ及びキャノン17倍ズームレンズを収納し、屋外での直射日光や風雨から機器を保護するために用いる防雨・防水型カメラハウジングです。
又、ワイパー、ヒーター、デフロスタ、ファンを装備し、あらゆる気象条件に対応出来るように設計されています。

■構成

一式の構成は下記によります。

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1) 本体 | 1台 |
| 2) 入力ケーブル(旋回台-ハウジング間) | 1本 |
| 3) 付属品(付属品の内訳は、別表付属品表によります) | 1式 |
| 4) 取扱説明書 | 1冊 |

■性能

- 1) 使用条件：屋外一般
- 2) 使用温度：-20°C～+45°C
但し、ワイパーは-5°C～+45°Cで凍結しない場合
- 3) 使用湿度：35%～98%(相対湿度)
- 4) 電源：AC100V±10% 50/60Hz 単相
- 5) 電力：動作特性表によります。
- 6) 定格：連続 但し、ワイパーは間欠(10分)となります。
- 7) 防水性：JIS C 0920-×4(防まつ型)及びIP-54に準じます。
- 8) 本体質量：約7.8kg

■構造

- 1) 外観：外観図参照
- 2) 内部容量：幅×高さ×長さ(約)130×118×380
- 3) 主要外装材：イ) 本体・サンシェイド 耐食アルミ板(A5052P)
ロ) 前枠・後蓋部 アルミ鋳物(ADC12)
ハ) その他 ステンレス鋼、及び硝子

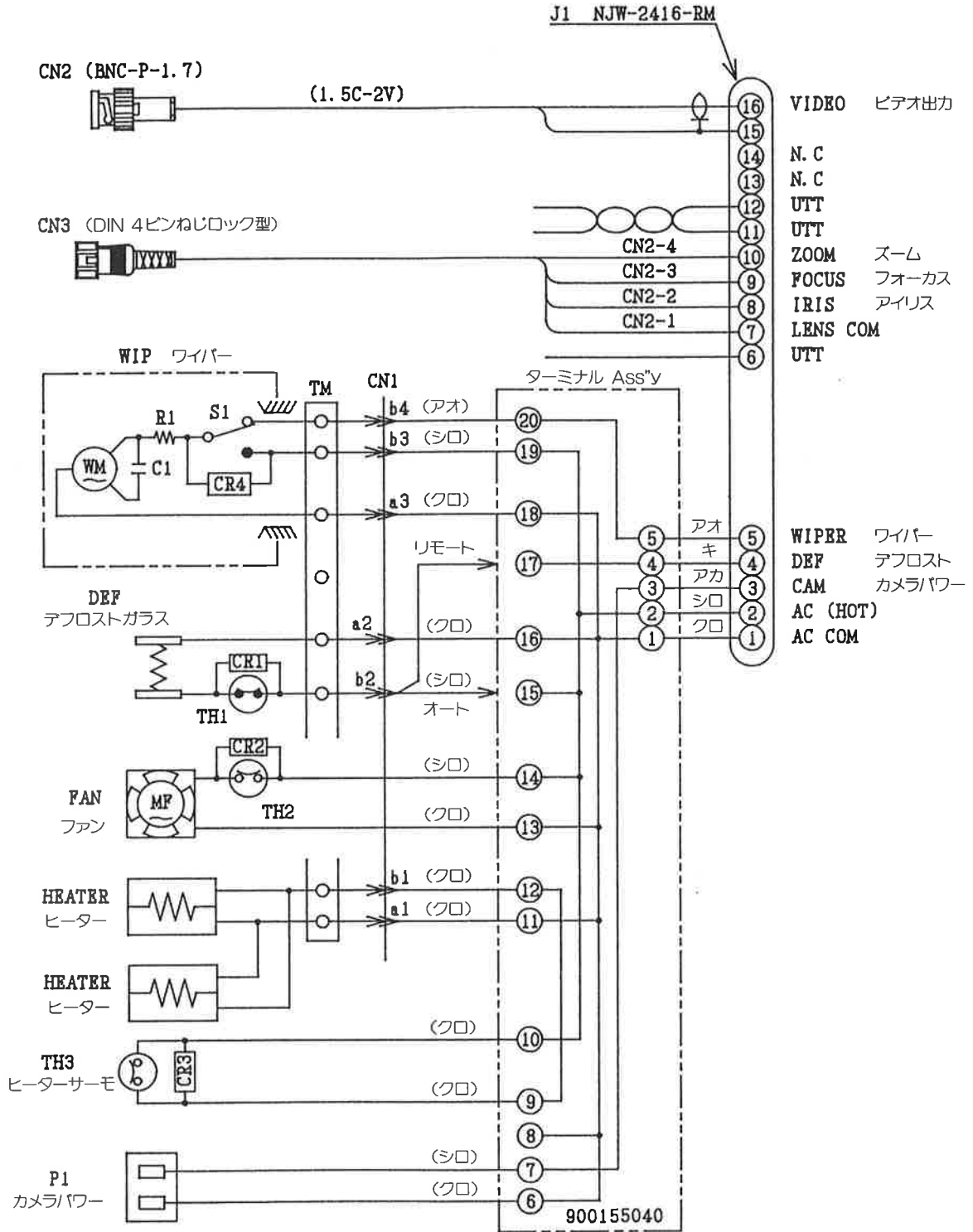
- 4) 仕 上 げ：塗装 マンセル5Y8/1レザートーン仕上げ
- 5) 防 錆：イ) 外部に露出している、ねじ、ボルト類は、ステンレス鋼製を使用しております。
 ロ) 塗装は、エポキシ系下塗り、ポリウレタン系上塗りを施すものとします。
- 6) 回路及び回路部品：回路図及び回路部品表によります。
- 7) 装 備：動作特性及び電力
- | | |
|---------|---|
| 導通テフロスタ | AC100V 10W±30% |
| | サーモスイッチによる自動制御とし、ガラスに接着固定したサーモスイッチにより、温度上昇時+45°C±5°CにてOFFし、復帰動作温度デフレンシャル(応差)10deg以下の範囲でONする。(約+30°C以下ON,+50°C以上OFF) |
| ファン | AC100V 4.5VA±20% |
| | サーモスイッチによる自動制御とし、ハウジング内の空気を攪拌し、筐体放熱を促進し冷却する。
温度上昇時、サーモスイッチの表面温度が+30°C±3°CでONし、復帰動作温度デフレンシャル(応差)は、2~5deg以下でOFFする。(約+30°C以上ON) |
| ヒーター | AC100V 17W±15%×2 |
| | サーモスイッチによる自動制御とし、ハウジング後部上方に取付けたサーモスイッチの表面温度が温度上昇時+10°C±3°CでOFFし、復帰動作温度デフレンシャル(応差)は、2~5deg以下でONする。(約+7°C以下ON) |
| ワイパー | AC100V 11VA±20% |
| | リモートスイッチのON-OFFによるリモコン制御とし、制御回路のONにより始動し、OFFにより動作終端まで動作し、リミットスイッチにより自動的に停止する。
1 往復動作時間 約2秒 |

■付属品

一式の付属品の種類及び個数は下記によります。

イ) 本体固定用取付ボルト類(SUS製)	ロ) カメラ取付ボルト類(SUS製)
M6×14 六角ボルト 4本	W1/4 長さ 12.5 六角ボルト 2本
φ6 バネ座金 4個	φ6 バネ座金 2個
φ6 平座金 4個	φ6 平座金 2個
	絶縁ワッシャー(ナイロン製) 2個

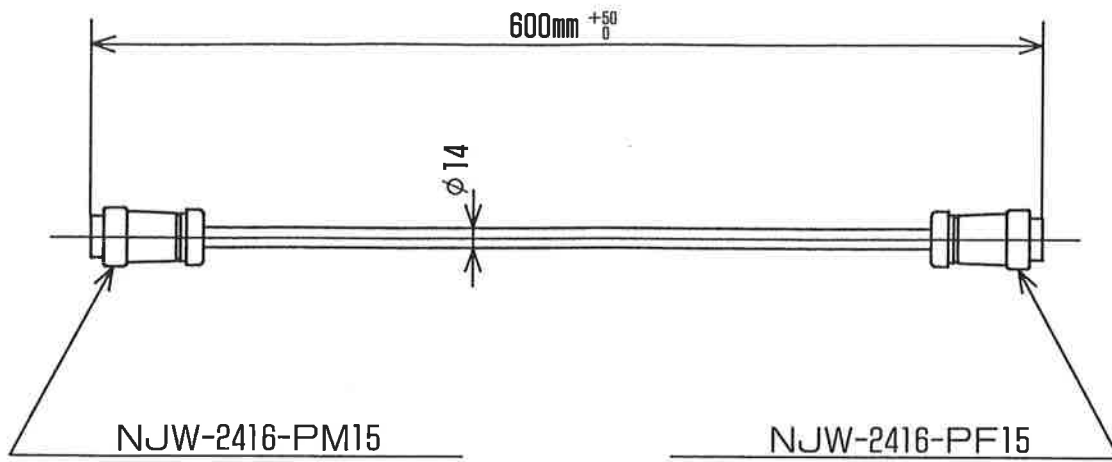
回路図



回路部品表

記号	品名	個数	型式又は規格
J1	16ピンコネクタ	1	NJW-2416-RM
：	：	：	：
CN1	8ピンマルチコネクタ	1組	角形 10形マルチ J8/P8
CN2	同軸プラグ	1	BNC-P-1.7
CN3	4ピンプラグ	1	TC80804-01-5201
TM	8ピンターミナル	1	A106Z-8P 又は同等品
：	：	：	：
：	ターミナル基板A TM SSV	1	：
：	基板	(1)	90-0155-040
：	ターミナル	(2)	MKDSN 1.5/10
：	：	：	：
DEF	テフロストガラス	1	AC100V 10W±30%
FAN	ファン	1	2412PS-12W-B30
H1,2	ヒーター	2	AC100V 17W±15%
WM	ワイパーモーター	1	ORK1GK-A3
C1	起動コンデンサー	1	1.8 μ F 250VAC
：	：	：	：
TH1	サーモスイッチ(D)	1	MDT-13-50X
TH2	〃 (F)	1	MQT-8F-30Y
TH3	〃 (H)	1	MQT-8F-7X
：	：	：	：
CR1~4	スパークキラー	4	S-120033
：	：	：	：
P1	ACメスプラグ	1	：
R1	ホール抵抗	1	5 Ω 5W
S1	リミットスイッチ	1	SS-5GL

入カケーブル

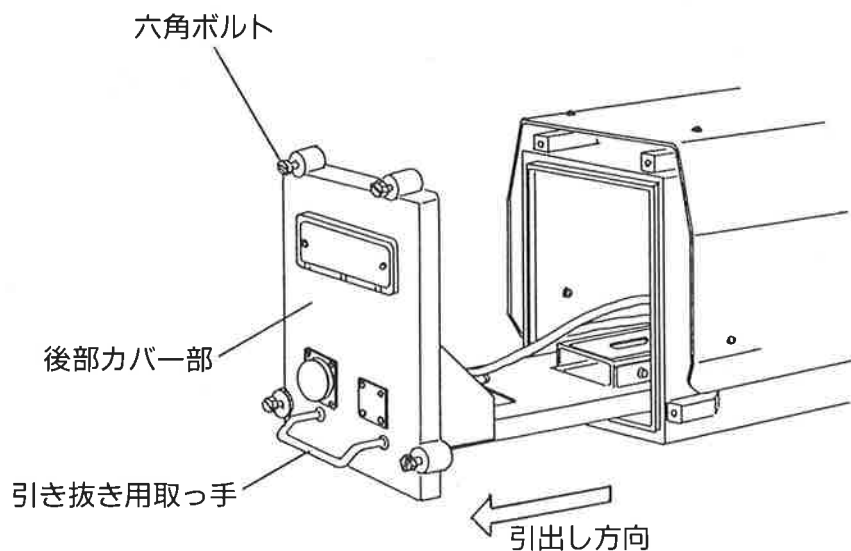


使用線材：同軸入り19芯複合ケーブル 型式：VCT-1605-3CX
サイズ：0.5mm²×10芯及び1.5D-2V相当同軸線×3

設置のしかた

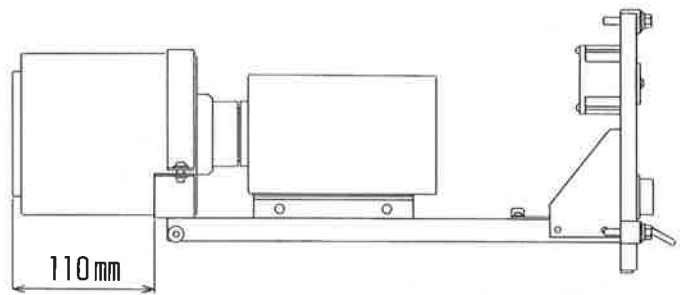
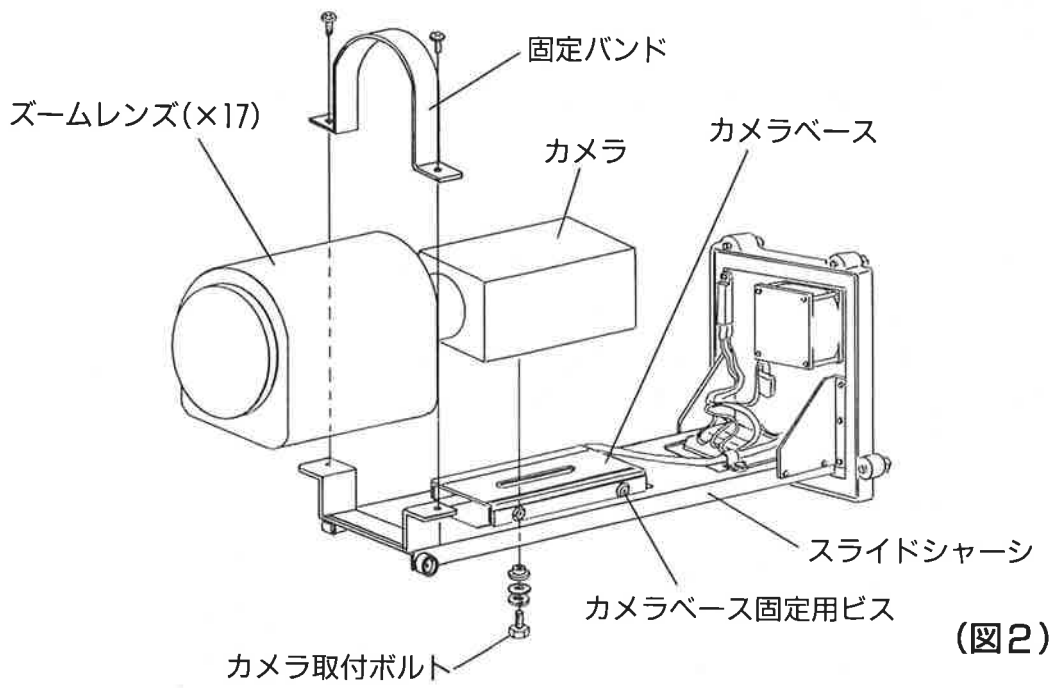
■ズームレンズ・テレビカメラの取付け方

- ① 本体後面カバー部の六角ボルト(4本)をスパナ等にて緩めて本体より外し、後面カバー部を後方に引き出して下さい。(図1)



(図1)

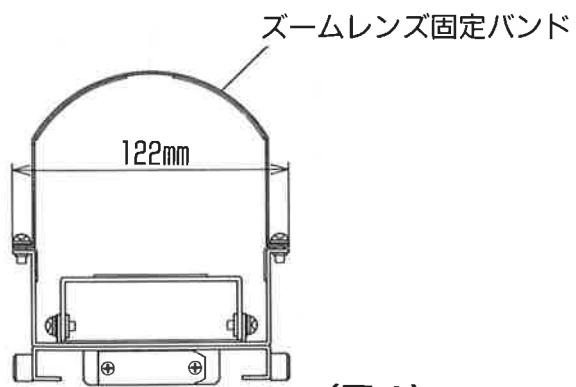
- ② テレビカメラにズームレンズをしっかりねじ込んで固定して下さい。
 - ③ カメラベース固定用ビス4本を緩めて下さい。
 - ④ ズームレンズを固定バンドにてスライドシャーシに固定して下さい。(図2)
この時、レンズの先端が前面デフロストガラスにあたらないようにして下さい。
(シャーシ先端とレンズ先端の間隔が120mmになる位置が最適です。(図3))
 - ⑤ カメラベースにカメラをカメラ取付ボルトにて固定して下さい。
 - ⑥ ズームレンズとカメラをスライドシャーシと平行になるようにカメラベースを固定用ビス4本にて固定して下さい。
- ※ 光軸が低いか、高くてカメラベースがスライドシャーシに取付かない時は、お買い上げの販売店又は当社にご相談下さい。



(図3)

— 注意 —

カメラ・カメラケーブル・レンズケーブルは、ズームレンズ固定バンドより外に出ないようにして下さい。(図4)
 (パネルヒーターに接触する為)

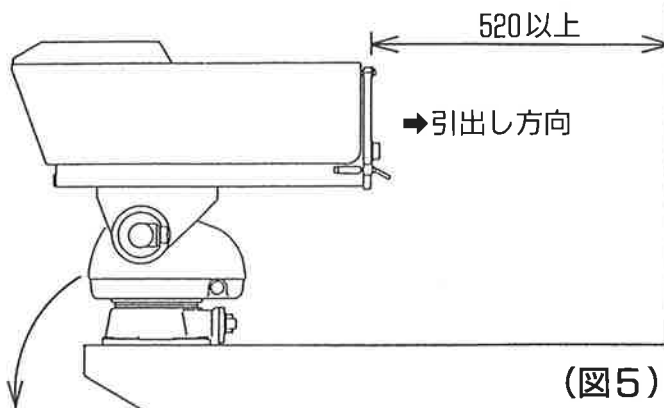


(図4)

特にご注意を

本カメラハウジングは回転装置(PTH-17-10)や半固定雲台に搭載して使用しますが、特に下記の点にご注意ください。

- 本カメラハウジングの質量は、約7.8kg(テレビカメラ、レンズを収納しますと最大約11kg)あります。回転装置や半固定雲台には付属のボルトを使用し、しっかりと固定してください。
- カメラハウジング取付時、回転台ステージに大きな力を与えないで下さい。破損の原因となります。
- 本カメラハウジングを回転装置に取り付けてご使用される場合は、回転中カメラハウジングが周囲の壁や天井等にぶつからないように設置して下さい。
- テレビカメラの出し入れは後面カバー部分を後方に引き出します。この時、回転台-ハウジング間ケーブルは外しておいて下さい。

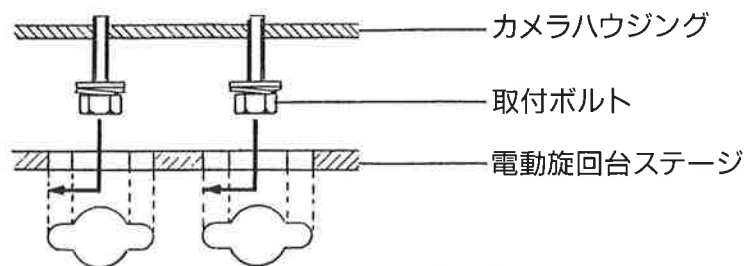


(注) カメラを出し入れするとき、後面カバー部分が後方に引き出されますから、後方に約520mmの空間が必要です。後方に壁面等の障害物があるときはハウジングの方向を回転出来る取付台を使用すると便利です。

取付台・回転台

- | | |
|---|---|
| (1) 電動回転台 PTH-17-10型 | (3) ハウジング取付台 WB-17-2型 |
| (2) ウォールブラケット WB-17-1型
(PTH-17-10と組合せ使用) | (4) ウォールブラケット WB-17-1型
(WB-17と組合せ使用) |

■本機をPTH-17-10に搭載する場合(図6)のように取付ボルトをハウジングに仮付けして、図のように落とし込み前方へずらし、ボルトを締付けて下さい。



(図6)

接続のしかた

- 添付のシステム接続図に従い接続してください。なお、接続には付属コネクタを使用し、防水効果を保つために指定の径の多芯ケーブルをご使用ください。
- 本機と旋回装置(PTH-17-10)間の接続には、本機付属入力ケーブルをご使用になりますと簡単に、そして確実に接続することができますのでご利用ください。
- 制御器CB-171L～旋回台PTH-17-10・カメラハウジングCH-1600間の接続は、システム接続図を参照ください。

使いかた

■準備

- 各機器間の接続に間違いがないかもう一度お確かめください。
- 各機器のすべてのスイッチが「切」の位置になっていることをお確かめください。
- 各機器の電源コードAC100Vコンセントに差し込み各機器の電源スイッチ及びカメラ電源スイッチを「入」にしてください。

■操作のしかた

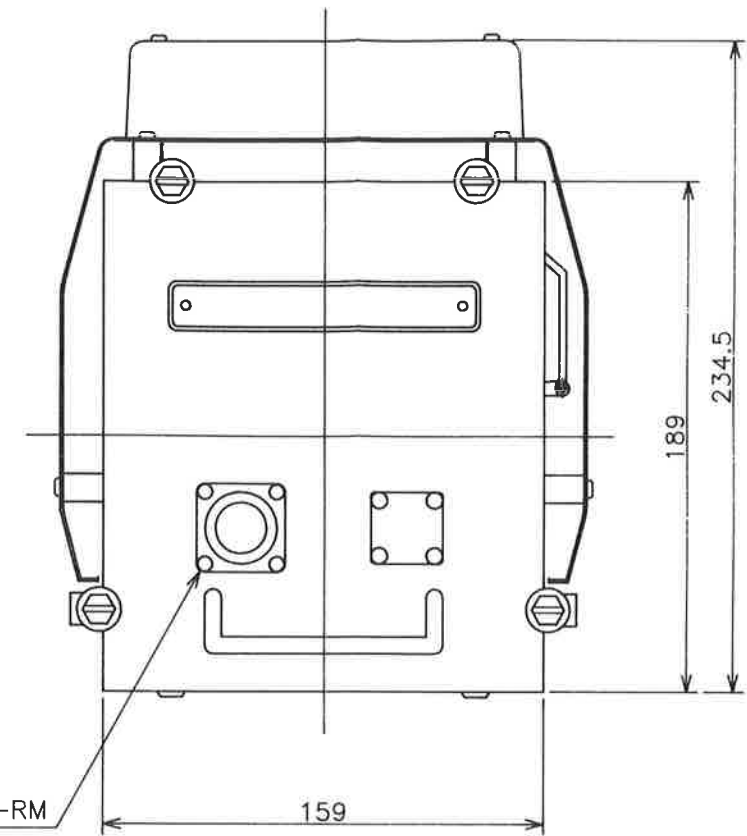
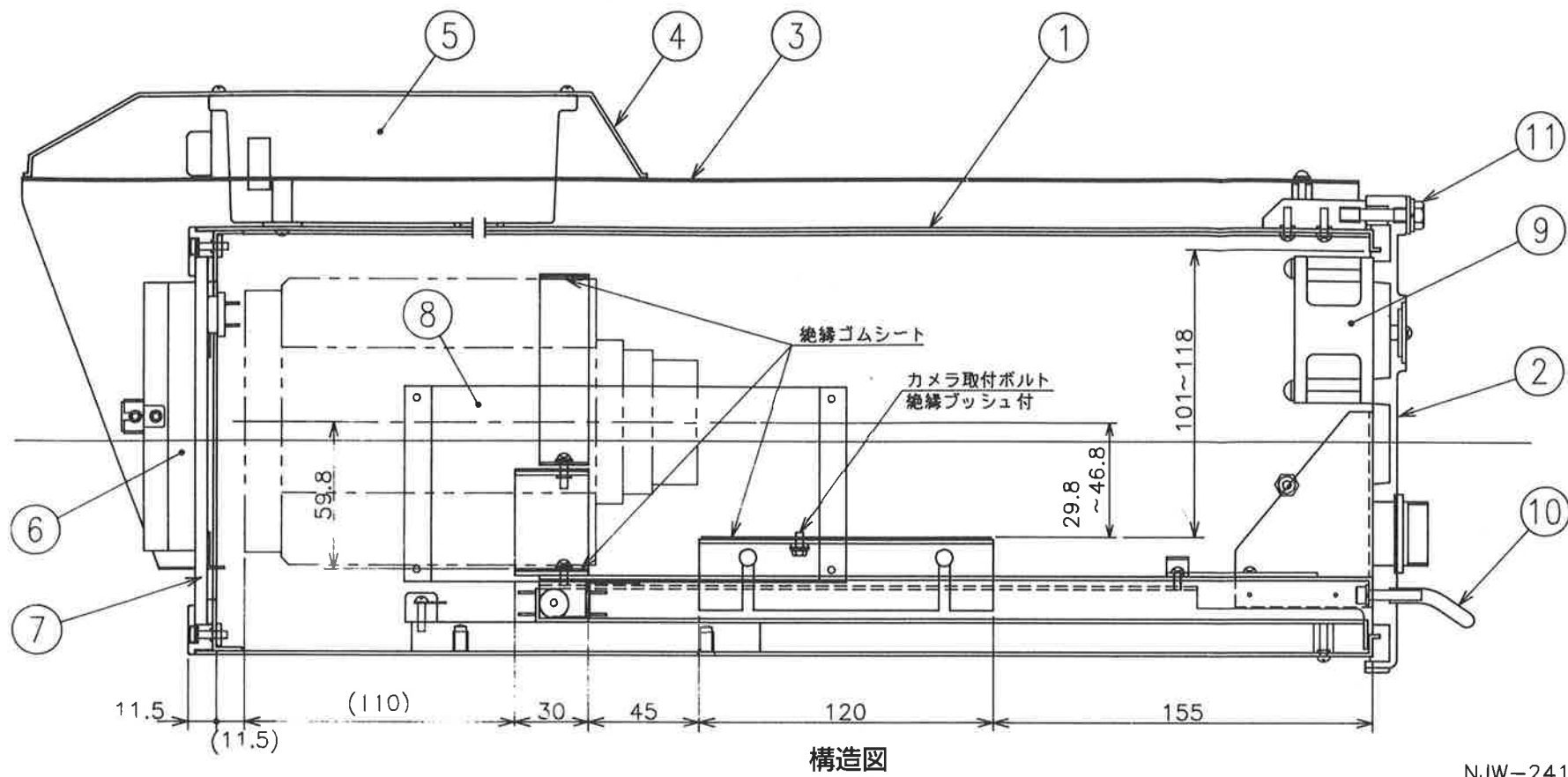
- 電源コードAC100Vコンセントに差し込むことによりヒーター、ファン、デフロスト回路に電源が供給され、作動状態になります。
カメラハウジング内の温度がさがると自動的にヒーターが動作し、またカメラハウジング内の温度が上昇しますと自動的にファンが働き、カメラ、レンズを最適状態に保ちます。
- 外気の温度がさがり、カメラハウジング内の温度との差が大きくなりますとデフロストガラスが曇ります。デフロストガラスに埋め込まれた熱線が外気の温度により自動的にON, OFFし、デフロストガラスが曇らないよう最適な状態に保ちます。
(カメラハウジング内部のターミナルAss’yの15番に入っているシロ線を17番に接続することにより、外部よりデフロストを制御できます。)
- 屋外で使用し、デフロストガラスに雨滴がかかった場合は、制御器CB-171Lの“ワイパー”スイッチを“入”にしてワイパーを働かせてください。
(“入”にしている間ワイパーが働きます。)

修理サービス

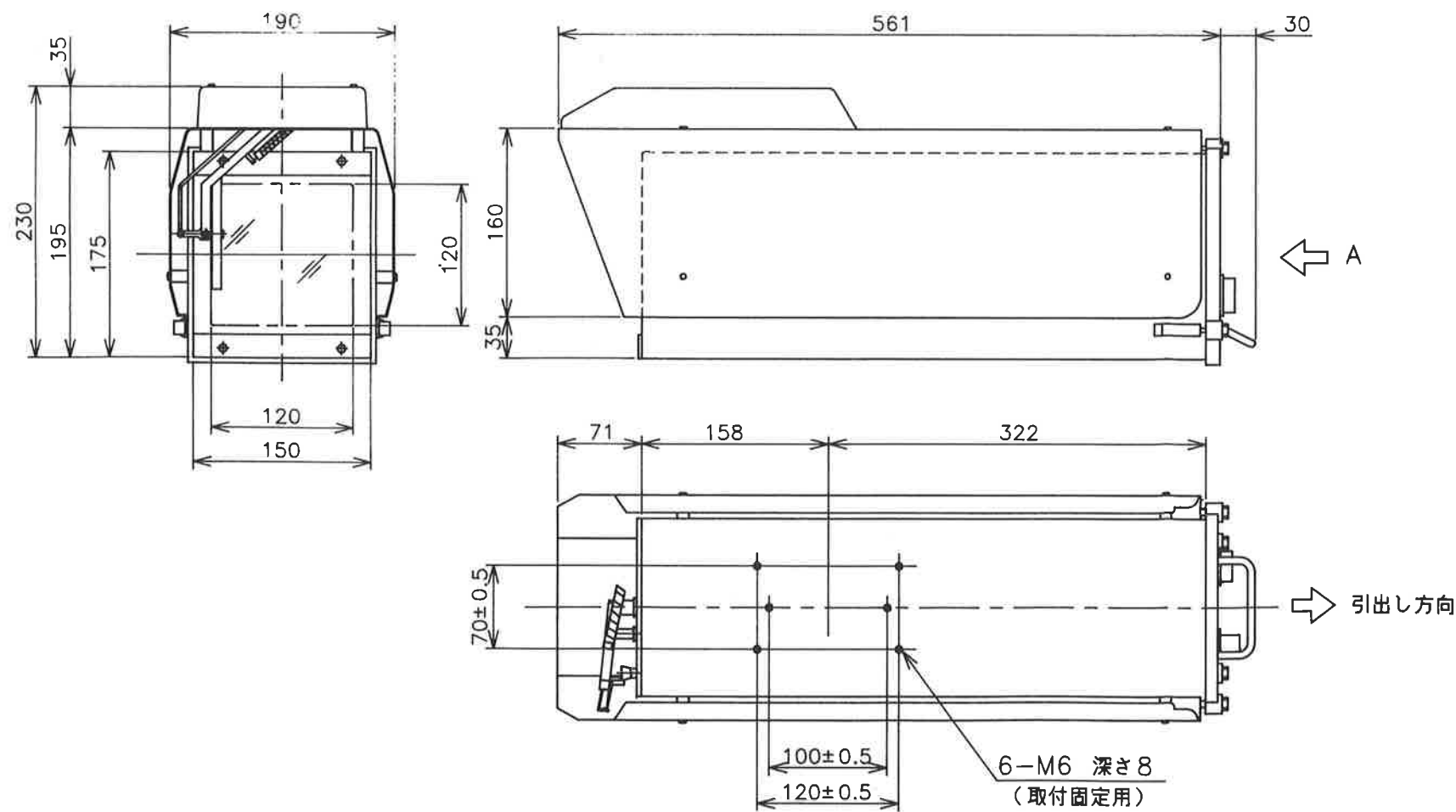
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、各機器の電源スイッチを切り、コンセントを抜いてお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。

なお、ご相談される時は型名(CH-1600)及びお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

外觀図

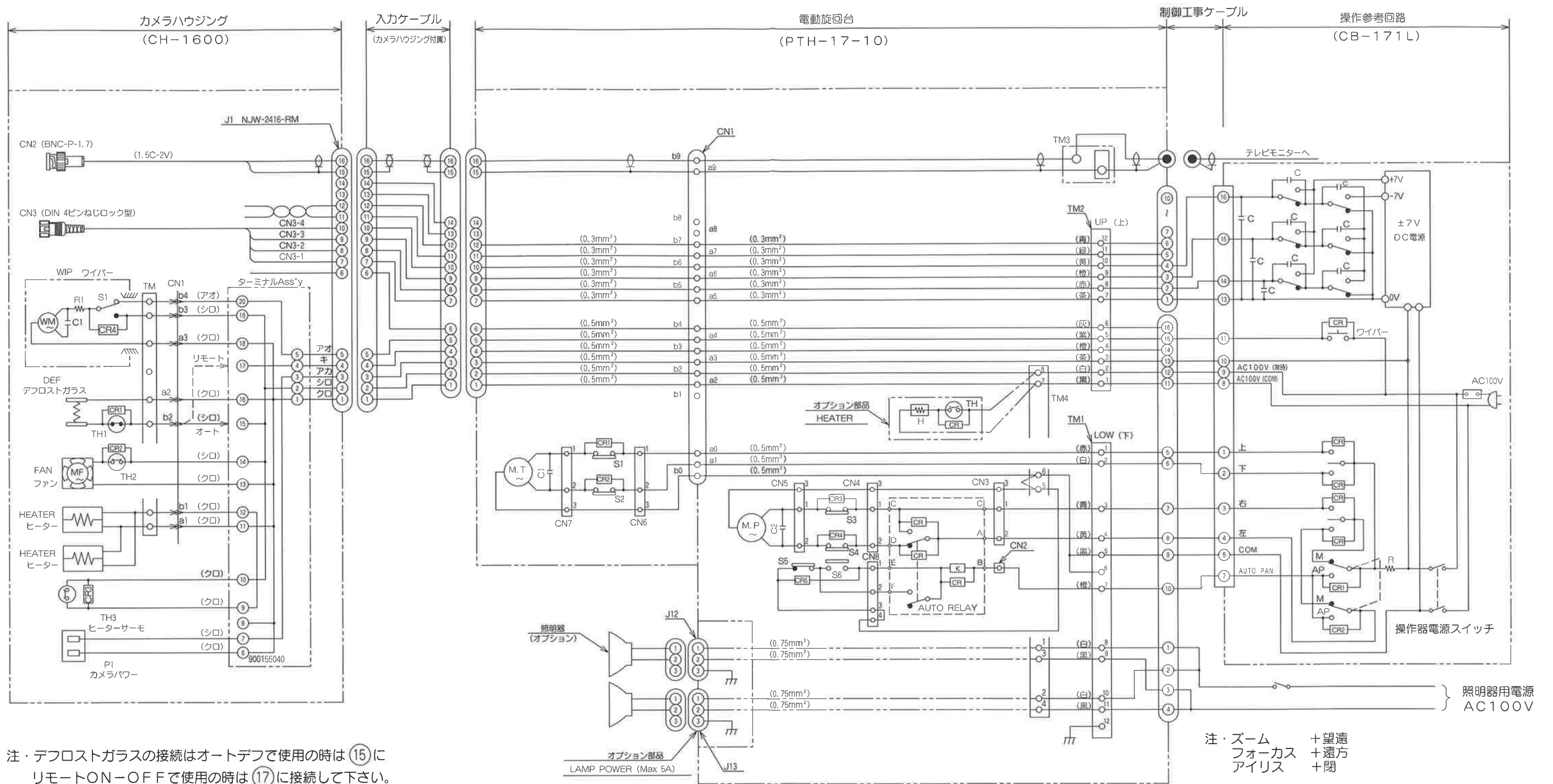


A矢視図背面詳細



	名称	材質等	処理等
①	ボデー	耐食アルミ板	塗装
②	リヤパネル	アルミ鋳物	塗装
③	サンシェイド	耐食アルミ板	塗装
④	ワイパーカバー	耐食アルミ板	塗装
⑤	ワイパーケース	アルミダイキャスト	塗装
⑥	ワイパーブレード	合成ゴム	
⑦	デフロストガラス	フロート板硝子	
⑧	ヒーター	面熱型カーボンヒーター	
⑨	ファン	アルミダイキャスト, 他	
⑩	取手	ステンレス鋼	
⑪	ボルト(M6-4本)	ステンレス鋼	

システム接続図



注・デフロストガラスの接続はオートデフで使用の時は(15)にリモートON-OFFで使用の時は(17)に接続して下さい。

注・ズーム + 望遠
 フォーカス + 遠方
 アイリス + 閉

C : 0.1 μ F 50V
 CR : 0.033 μ F ~ 0.1 μ F 120 Ω
 CR1~5 : 0.033 μ F 120 Ω
 R : ダンパー抵抗 5 Ω 5W

- 1) オプション部品ヒーター及びランプ用コネクタは実装されていません。
- 2) J3 (N-R) 同軸コネクタはボデーと絶縁され取付けてあります。

新住所

株式会社 **≡カ≡**

特機営業部
〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-5-23
TEL. 045 (914) 8222 (代) FAX. 045 (914) 6831

西日本支店
〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル
TEL. 06 (6376) 1821 (代) FAX. 06 (6376) 2071

MIKAMI & CO., LTD.

10, KOJIMACHI 1-CHOME, CHIYODA-KU, TOKYO, 102 JAPAN.

株式会社 **≡カ≡**

〒102 東京都千代田区麴町1-10-1
TEL. (03) 3263-3921(代)
FAX. (03) 3264-1477